

国土東北OB会より

1. 会長挨拶

『健康で穏やかな一年を』



国土東北OB会
会長 大橋 貞之

新年あけましておめでとうございます。

OB会会員の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

皆様にとりまして、今年が「健康で穏やかな一年」となりますよう祈念いたします。

昨年一年間、役員の皆様をはじめ、会員の皆様がOB会活動に、積極的にご参加頂きました。

心より厚く御礼申し上げます。お陰様で、昨年11月に国土東北OB会創立20周年の記念行事を盛大に終える事が出来ました。また総会で役員改選があり、新体制（P.5参照）となりました。新役員の皆様と共に二年間頑張りますので、ご協力よろしくお願い致します。

OB会の大きな活動テーマは、「現会員の行事参加」と「新会員の拡充」と考えます。特に若手会員の確保さらには女性会員の発掘に努力致します。またOB会を継続・発展していく基盤を作る事が現役員の方々の責務と考えています。

みんなで「楽しいOB会」を目指しましょう。

最後に、皆様のご健勝とご活躍そして日本国土開発(株)のご発展を心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

2. 国土東北OB会総会(20周年記念行事)

本年度はちょうど節目の20周年に当たり、例年と違って会場は仙台市内よりちょっと離れた所にあるひなびた温泉宿の茂庭荘。祝賀会を兼ねた総会の為か、いつもの光景と違ってリラックスムード。

21名の出席者の中、まず大橋会長よりOB会の礎を築かれた、武藤、高橋、三浦氏の歴代三代会長へ

の感謝の意を表し、引き続き会の運営面に於いては皆さまの御理解の元、会員数の拡大を図り、更なる会の充実に努めたいとの力強い挨拶が有りました。

本年度は役員改選の年に当たり、総会出席者の満場一致により大橋会長を再任。

理事の皆さんも再任され、監事には鈴木氏に代わり東京帰りの国分氏が新しく就任されました。その外、会員の中からの提案で今までマッチしていなかった会計年度、会報発行回数をその年度に一致させることで合意し総会はずつがなく無事に終わりました。

皆さん、御協力ありがとうございました。



3. 「懇親会20周年記念行事」(平成29年11月19日)

国土東北OB会の満20歳を祝う宴は旧伊達家所縁で天皇陛下も巡幸された由緒ある鐘景閣で大々的に開催致しました。

箆笥料理で有名なこの店で、出るは出るはの料理の品数は何と何と15品！

舌鼓を打ちながらあちらこちらで「うまい、うまい」の連発の声。

「今度女房を連れて来よう」とか「OG会の参加者がいれば悦んだらうなあ」等々、

優しい男性陣の声々。

そんな中、東京から駆けつけて頂いた福間前支店長よりご祝辞を頂き、支店の菊池営業部長、古川営業所長にも花を添えて頂きました。

大橋会長より武藤、高橋、三浦(欠席)氏らの歴代の会長に今までの御苦勞に感謝の気持ちを込めて

記念品の贈呈のサプライズがありました。

祝賀会の合間には、これまたサプライズで福永副会長より料理長の紹介。

鐘景閣のあの料理長が何とサンルート蔵王ホテルOBだったとは・・・

そのことが判るとこれまた会場は割れんばかりの拍手に包まれました。

(なるほど・・・だから今夜の料理は特別うまいのか！？下衆の勘ぐり?)

瞬く間に宴会ムードに突入し、皆さんは昔が蘇ったかのようにあちこちで祝杯の輪ができ、酒量もみるみる増え、「天国よとこ一度はおいで、酒はうまいし♪」の「かえってきたヨッパライ♪」の歌を地で行くような盛り上がりの宴でした。御馳走さまのお疲れさまでした。

